

2021年3月8日

一般社団法人 堺市薬剤師会
鈴木会長様

ベルランド総合病院 薬剤部
星 育子

保険薬局研修会（2021年3月6日開催）アンケート結果

1. アンケート回収率

参加人数	15名
回収枚数	15枚
回収率	100%

2. アンケート結果

5段階評価（5. とてもよい 4. よい 3. ふつう 2. わるい 1. とてもわるい）

項目	とてもよい	よい	ふつう	わるい
1. 内容は理解できるものでしたか	6	9	0	0
2. 場所の設定は適当ですか	7	7	1	0
3. 開始時間は適当ですか	5	9	1	0
4. 所要時間は適当ですか	5	9	1	0
5. テーマに関心がそそられましたか	9	5	1	0
6. 講師は適当でしたか	10	5	0	0
7. 今後の業務の中で生かすことができますか	6	9	0	0

希望するテーマなどその他のご意見

- ・ 糖尿病のシックデイの薬局・病院間での統一について。
- ・ 退院時に情報提供文書があれば助かります。（治療の経緯や薬剤変更など）
- ・ 退院～在宅医療のながれで病院ではどのようなプロセスを経ているのか、退院時共同指導などを知りたい。
- ・ 在宅医療で心不全患者とかかわることが多いため、今回講義を聞いて勉強になりました。
- ・ DAPT から薬を減らすとき、原則どの薬を減らすなど定まっていますか？

今年度は新型コロナウイルス感染症により、本研修会の開催について危ぶまれた時期もございましたが、堺市薬剤師会様のご協力のもと、時間短縮をして会場における研修会の開催を企画させていただきました。例年どおり薬剤師の先生方からのご予約をいただき、感染対策のうえ研修会にご参加していただいたことに御礼申し上げます。

今回の研修会では、医師から「心不全と薬物加療 ～急性期から心不全緩和ケアまで～」というテーマで、心不全の病態分類やその治療法について、薬物治療の意義や薬剤の使い分けについて解りやすく講演して頂きました。また薬剤師からは、「心不全患者のチーム医療と薬剤師の関わり」という内容で、薬剤師が他の専門職種とともに積極的に心不全治療に

関わることにより、患者の余命予後に影響を及ぼすかについて述べました。続いて、実際の臨床現場で患者、医療者が共通のツールである「ハートノート」を用いて疾患を制御していく取り組みを症例をあげて紹介しました。心不全は、適切な薬物療法や食事療法といった生活習慣を改善することで病勢進行を制御できる病気であるため、在宅での治療の継続が重要となります。研修会を通して、保険薬局の先生方とも協力し合いながら継続的な患者ケアにつなげていければと感じました。

今後ともご教示を賜りますようお願い申し上げます。